

2023 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 2023 年度事業計画

(1) 会員活動

(★:2023 年度新設)

2023 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクトの充実、活性化を目指して活動を実施する。

a. 会員交流

(a) フォーラム

下記のフォーラムを開催し、より活発な活動を進める。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム(東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社人材育成フォーラム(1 グループ)
- ・グローバルフォーラム(シンガポール 1 グループ)

(b) 研究会

2023 年度は、下記 15 テーマについて研究会を実施予定で、新たに 2 つの研究会を立ち上げる。研究会によっては会場開催中心にシフトするとともに、希望があった研究会については、合宿を 9 月・10 月・11 月に実施予定である。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・企業リスクマネジメント研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織力強化研究会
- ・システム開発・保守 QCD 研究会
- ・AI 研究会
- ・デジタル変革自己育成研究会
- ・トランスフォーメーション研究会
- ・人材育成事例(HRCS)研究会
- ・組織内起業家研究会
- ・製造業 DX 推進アプローチ研究会
- ・デジタルマーケティング研究会★
- ・ビジネスリレーションシップ研究会★

(c) 研究プロジェクト

下記の研究プロジェクトを実施する。

- ・未来ビジネスフォーラム (グループを増やして開催予定)
- ・基幹系システムアジャイル適用研究プロジェクト

(d) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施する。
2023 年度は下記 4 研究会の申請があり、活動予定である。

- ・情報共有研究会
- ・データエクスペリエンス研究会 - Data and beyond -
- ・IT エンジニア育成研究会
- ・企業における成長戦略と DX 投資事例研究会

(e) 情報セキュリティ WG

昨年度の活動成果をふまえ、情報セキュリティに関する課題とその解決方法の共有の横展開を目指し、20 名程度の WG を 2 グループ開催する。1・2 か月に 1 回程度の活動を、会場開催、オンライン開催を併用し実施する。各社の取組み共有のほか、個別課題の深堀のディスカッションを予定している。

(f) 関西

前述の IT 企業トップフォーラム関西、IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関西のほか、ミドルマネジメントの情報交流として、PARK2.0 を実施する。

※PARK:The place of advanced relationship in Kansai

(g) JUAS アカデミー

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の勉強会として開催していく。

2023 年度も昨年に引き続き、オンラインを中心に様々なテーマで積極的に実施していく。

b. 「認定個人情報保護団体」としての活動

2023 年度も前年度に引き続き、C 会員を中心に登録を受け付け、苦情相談等を実施する。

c. セキュリティセンター（プライバシーマーク審査事業）

2023 年度のプライバシーマーク審査件数は、2,215 件を見込んでいる（2022年度より 95 件増）。

過去最多の審査件数を見込む一方で、これまでの審査を支えてきた審査員の高齢化が進んでいることから、審査品質の維持・向上に向け審査品質を改めて定義し、マニュアルの整備や、審査員への情報提供や審査員同志の意見交換ができる場を構築し、全体のレベルアップを図るとともに、新たな審査員を育成していく。

「プライバシーマーク審査業務刷新に向けた業務改革・IT 化構想」については、2023 年 5 月から開始した電子申請を軌道に乗せ、会員企業（JUAS にプライバシーマークを申請した事業者）の利便性向上を図るとともに、STEP2 による審査管理業務の効率化へ取り組んでいく。

また、プライバシーマークに係る PMS の構築相談や、カンファレンスや情報提供などの各種会員サービスも継続して行っていく。

(2) 教育研修事業

会員をはじめとした企業の人材育成、さらには組織力強化について、より一層の支援を行っていく。

これまでのオープンセミナーの定期講座、コース型研修や新人・配転者向けプログラム、オーダーメイド研修、ラボを引き続き実施していくほか、受講形式もオンライン受講、オンラインと会場を選択できるハイブリッド形式も引き続き取り入れていく。また、地方創生をテーマにした合宿型研修も新たに開催予定にしている。

2023年度の開催数は、2022年度と同程度の予定である。

2023年度の新人・配転者向けプログラムに関しては、すでに多数参加希望をいただいているため2組開催とし、受け入れ数を増やした。一方で、横のつながりもできるように、最初の数回と最後の閉講式に関しては、合同開催とし、2組が一堂に会する時間を設けている。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2023

ユーザー視点での情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンスとして、2023年9月7日(木)に、「自ら描く新しい世界へ～ 変わるって難しい 変えるって楽しい」をテーマに、4年ぶりに会場(ハイアットリージェンシー東京)での開催を予定している。

b. イノベーション経営カレッジ

2023年度も引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の3つのカテゴリで実施する。

これまで20回実施してきたミドルマネジメント層向けのプログラム「IMCJ2.0」は、10月～12月の開催を予定している。

また、事業創造のための協創の場「Challenge Camp」についても10月～2024年3月に開催を予定している。

(4) 調査研究

これまでの調査研究事業をベースに、新規事業を含めて積極的に実施していく。

(5) 企業IT動向調査

企業のIT投資、IT導入状況、IT活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。

調査の方法は、本年度もアンケートとインタビューを併用する予定である。情報発信の取組も積極的に行っていく。

※2012年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。

以上